

in touch with your daily life

KISSARAKU JUKU

喫茶

tea
AtoZ

カンタン楽しい
お茶パーティー。



TEA PARTY



TEA PARTY



TEA PARTY

flower coordinate color coordinate aromatherapy

TEA PARTY

flower coordinating color

素敵なティーパーティ 基礎知識を身に

美味しいお茶を振舞えば大抵のお客でも、それだけでは何か物足りない。更に趣向を凝らしたおもてなしで、ゲストもここでは、ティーパーティーを彩るさまざまな演出

パーティーの演出は、
自由なルールで自分らしさを表現したい。

◆香り

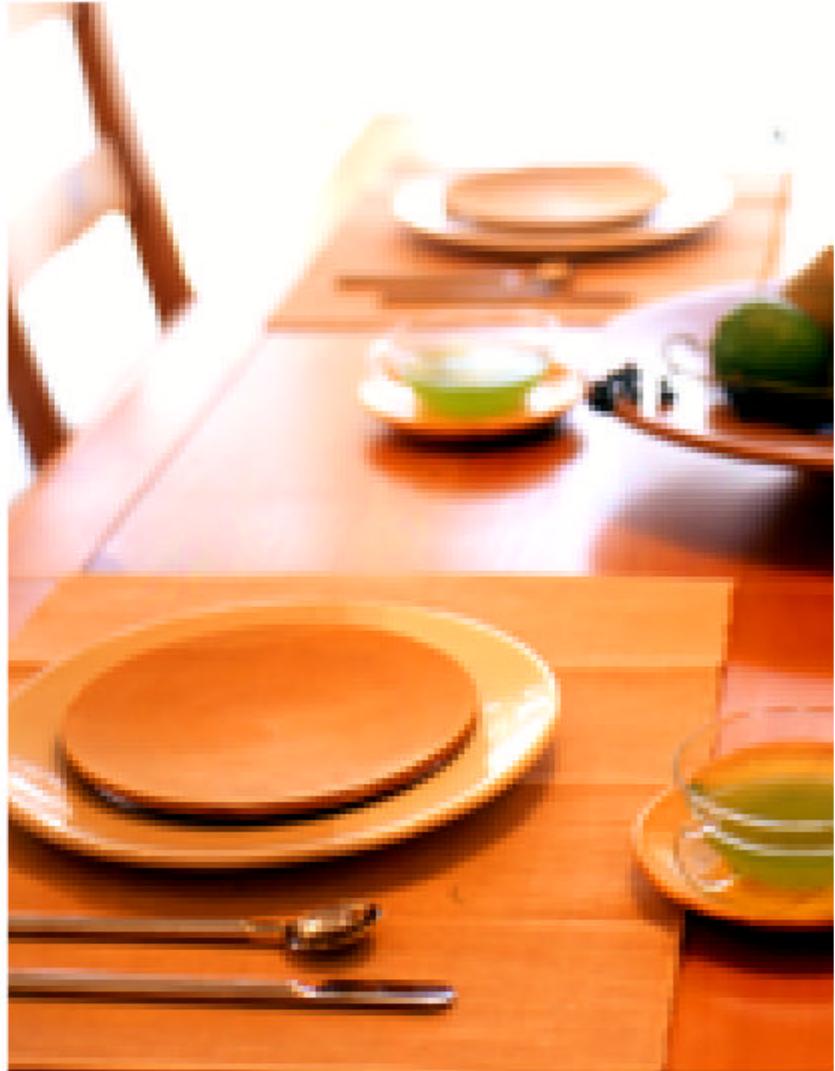
ご自宅に招かれて一番最初に気付くのがそのお宅の匂いです。市販の芳香剤でごまかすこともできますがここでは、茶香炉を焚いたり、香りの良い花を玄関先に飾る方が自然でゲストの方にも喜んでいただけます。また、パーティースペースに香りを用意することも大切な演出の一つです。

◆スペース

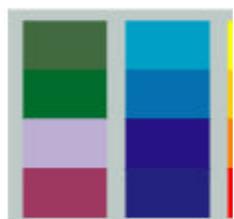
美味しいお茶とお菓子が主役。といってもテーブルに対しての面積比率にも気を付けたいものです。器とランチョンマットを敷いたらテーブル一杯というのも変ですね。また、どんなに仲の良い友人同士でも人には心地良く感じるテリトリーがあります。ゆったりくつろげてゆとりあるスペースが、会話も弾むベストスペースではないでしょうか。

◆音

会話を夢中で楽しんでいる時、音楽が流れていても気付かない時があります。しかしそれは耳に馴染んだ良い曲で、好ましい音量であるからです。適正な音楽は自然と会話を弾ませてくれたりします。このようなパーティーの場合、基本的にはピアノ曲などのライトミュージックを選択し、ポピュラー曲などは出席者の音楽の嗜好を考えた上で選択すべきでしょう。やはり音楽はパーティーのBGMであるべきです。



暖色は時間の回転を早くする効果も持っています。40分しかおしゃべりをしていないのになんだか1時間もおしゃべりしていたような気がします。それに比べ寒色は時間の回転を遅くする効果を持っています。1時間もおしゃべりをしていないのにまだ40分位の感覚しか感じなかったりします。また、暖色と寒色では心理的な温度の差が約3℃あるとも言われています。例えば食事をする部屋が寒色系だったりすると非常に寒く感じ空調の効果も強い。そこで飲食店等は部屋の感じを暖色系にまとめ少し空調を入れるところが多いようです。もちろんパーティーのカラーコーディネートで言えば暖色系にまとめるか、寒色系にまとめるかは季節も大きな条件の一つと言えます。



暖色：青から青緑にかけての色で水や水等を連想させる。冷たく感じさせる色です。
中間色：緑や紫系統の暖かさや冷たさを感ぜさせない色です。

医学的にも注目。

アロマセラピーの癒しの効果

アロマセラピーの香りの効果として注目されている大脳辺縁系は、発生学的にみても古い脳で下等動物ほど辺縁系の占める割合が大きく、動物的な本能行動(性行動、摂食行動、感情など)に密接に関係しており、香りの情報が大脳辺縁系に到達すると、過去に経験した記憶を蘇らせたり、快不快等の感情がうまれるのです。このことが人によって香りの好みが違う原因になっています。また大脳辺縁系は視床下部(自律神経の最高中枢)にも作用して、自律神経を調節しています。心地よい香りの中にとりラックスするのは、この自律神経に良い作用をしているためです。

簡単に言えば、良い香りを選択し空間をコーディネートすることは「不思議な懐かしさ」や「リラクゼーション」をみんなに提供できる、新しいパーティー演出の一つだということです。

気分をすっきりさせ
集中力を高める
覚醒効果があるもの

気持ちを落ち着かせ
疲れた心を癒してくれるような
鎮静効果があるもの

PARTY

ティーを開くために 準備をしましょう。

様はそれだけでも喜んでくれます。

あなたももっともっと楽しんで本格的なティーパーティーを開催しましょう。

準備についての基礎を勉強していきたいと思えます。



◆花

絵画や彫刻をお部屋に飾ることはできなくてもお花を飾ることは誰にでも簡単です。例えば、色をテーマにアレンジする。季節をテーマにアレンジする。出席者をテーマにアレンジするなど、お花ならば様々なコンセプトで選択できますし、選ぶ楽しみもあります。また、最近の花屋さんには、フラワーコーディネート勉強されているプロの方も増えています。いろいろお話を聞いてみることもお勧めします。

◆色

お茶には、玉露や上級煎茶の水色のように『色』という楽しみ方もあります。茶器の色やテーブルクロスの色は、その楽しみを活かすためにも慎重に選びたいですね。また、色には心理的に影響を与えるさまざまな効果(下記参照)があります。その時々季節やテーマを良く考え自分らしい色にもこだわってみましょう。

最初から全て完璧に演出準備するのは難しいかもしれませんが、遊び心を持って楽しみながら準備することはティーパーティー主催の醍醐味だと思います。



多くの花を知ることから始める フラワーコーディネート

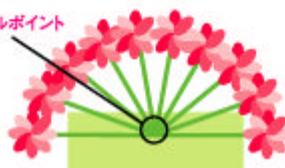
フラワーコーディネートは花を飾ること、花を生けることです。それによりみんなの心をうるおし、癒れた心を癒し、楽しい気分になり、豊かな気持ちにならたりします。花と形だけを考えるのではなく、部屋に置く場所や家具などの調和も考えます。また、どんな場所、何のために花を飾るのか、その日集まる人のことをよく考えてみることも大変重要になります。できる限り多くの花を知り、ついでに多くの作品を作って、素材の調和、色の混合・バランスなどの技術を身に付けたいものです。

アレンジのポイントについて

メカニカルポイント

フラワーアレンジではオアシスを崩さずにくささんの茎を挿し、デザインを完成させていきます。そこで、基本的には常に1点に向けて茎を挿していきます。この1点をメカニカルポイントと呼びます。(メカニカルポイントはデザインによって複数になることもあります)

メカニカルポイント



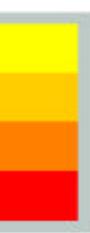
ビジュアルフォーカルポイント

それぞれのデザインで中心になるポイントのことを言います。一般的に美しく存在感のある花を挿します。



飲食店の成功すら左右する カラーコーディネート論の不思議

色彩はその使い方でいろいろな効果を生み出します。テーブルクロスや茶器、その日の服装まで含めて、開催するパーティーの主旨に合わせたカラーをさまざまなところに取り入れみなさんへの心理的効果をプラスに高めていきましょう。



暖色：赤・橙・黄系統の、太陽や火を連想させる暖かく感じさせる色です。

「ティーパーティーを開いてみよう。」

1. ティーパーティーのテーマを考える

「どんなティーパーティーでもてなすか」、ここが大事なところ。

お招きする方、季節や行事なども考慮して、あなたがどうもてなしたいのかを決めます。

(例) 『好みのお茶を持ち寄って、いろいろなお茶を楽しむティーパーティー』

『草原の中でのティータイムをイメージしたガーデンティーパーティー』など。

【ヒント】

- 季節にあったパーティーを考える。(春・夏・秋・冬)
- 開催する時間を考える。(朝・昼・午後・夕方・夜)
- 天気・気候を考える。(晴れ・雨・暑い・寒い)
- 参加者の嗜好・年齢・男女比等を考える。

2. テーマに合わせたコーディネートを考える

テーマが決まったら、それに合わせたコーディネートを考える。

(例)

◆洋風イメージを演出

フラワーアレンジで洋風を演出してみましょう。テーブルコーディネートも洋風の器やテーブルクロスでまとめてみるのはいかがでしょうか。

◆和風イメージを演出

ランチョンマットに和紙を使ってみましょう。

アクセントに、テーブルに折鶴を置くだけで、和風のイメージが演出できます。茶香炉なども置けば更に効果的です。

◆アウトドア(屋外)

天候・気候・ロケーションをできるだけ生かすことが大切です。

それに合わせたセッティングを心がけましょう。



3. ティーパーティーの進行を考える。

ティーパーティーを楽しく過ごすには、多少の進行も考えなくてはなりません。

あまり神経質に細かく決める必要はありませんが、テーマに沿った簡単なスケジュールや演出などは準備しておきましょう。

【注意点】

- ある程度の時間(1時間～2時間位)を目安にして、進行を考える。
- 予め必要と思われる道具は準備しておく。
- BGMなどの演出も心がける。

モデルプラン

まず、その日のテーマを決めました。

「日本茶をいれることを楽しみましょう」

日本茶のテースティングをして楽しむことにしました。

◆進行例

3:00 主催者は全員が揃うまでの間、ウエルカムドリンク(お茶)をふるまいます。

3:25 全員が揃ったところで持ち寄ったお茶を披露します。

3:35 テースティング開始です。香味を楽しみながらそれぞれのお茶の由来等を解説します。

5:00 終了

◆上記のプランで準備する道具

急須 ※たりない物は持ち寄りです。／湯ざまし ※なければ片口で代用します。

湯のみ／白い紙のお皿 ※お茶の外見を見るために使います。

砂時計／ティースプーン／保温ポット／やかん／ヒーター／お菓子皿／銘々皿／フォーク

焙烙／テーブルクロス／花 1電 ※今回は季節の花を飾ります。／お茶うけ

BGM テーマに合った曲を選択。